

『光る君へ 2』

やすらはで 寝なましものを 小夜更けて  
かたぶくまでの 月をみしかな

赤染衛門

[現代訳]

あなたが来ないと知っていたら、さっさと寝てしまえばよかったものを、あなたの約束を信じて待っていたら  
とうとう明け方の月が西に傾くまで眺めてしまいました。

作者は赤染衛門

右衛門尉 赤染時用の娘で、その呼名は父の官名、右衛門尉からつけられています。

平安中期の人で、藤原道長の正妻である源倫子とその娘の中宮藤原彰子に仕えており、紫式部や

清少納言、和泉式部とも親しく、共に優れた女流歌人でした。

藤原道隆を思う姉妹のかわりに、赤染衛門が詠んだ和歌だと言われています。

山陽小野田かるた協会  
小田広行